

第21回
テーマ

働き方が変わる!DXで実現する 柔軟で便利な勤怠管理

株式会社みらいパートナーズ ITコンサル事業部 取締役統括本部長
経済産業省推奨資格 ITコーディネーター

野崎 裕也

プロフィール

当社は、給与計算代行、経理代行、採用代行、SNS運用代行、SEO対策、Googleサポートサービスなど、多岐にわたるアウトソーシングサービスを提供し、地域企業の業務をサポートしています。さらに近年では、これまでに蓄積してきた豊富な経験とノウハウを活かし、ITコンサルティング事業にも注力しております。このような総合的なアプローチにより、クライアント企業のDX推進を多角的に支援しています。

今回は、当社のノウハウを活かしたDXの活用例として、柔軟で便利な勤怠管理システムについてご紹介いたします。

デジタルトランスフォーメーション（DX）は、企業の勤怠管理を根本から変革し、紙ベースや従来の電子システムから、クラウドベースの最新システムへと進化させています。この技術革新により、単なる業務効率化にとどまらず、働き方そのものが変わる可能性が高まっています。



DX時代の勤怠管理システムの特徴

DX時代の勤怠管理システムは、クラウド技術を活用したリアルタイムデータ収集・分析が可能な柔軟なプラットフォームです。これにより、スマートフォンやタブレットからのアクセスが容易になり、場所を問わず勤怠情報の入力や確認ができるようになりました。また、AIやビッグデータ分析の導入により、労働時間の最適化や業務効率の向上にも貢献しています。

導入事例★クラウド勤怠管理システム「KING OF TIME」の効果

弊社では、クラウド勤怠管理システム「KING OF TIME」を導入することで、勤怠データをクラウドで一元管理するようになりました。導入前は、カードリーダーで出退勤を打刻し、そのデータをUSBで取り出してパソコンに取り込む必要がありました。しかし、システム導入後は、その手間が不要になり、リアルタイムで勤怠データを確認できるようになったことで、業務効率が大幅に向上しました。

勤怠管理システム導入のメリット

勤怠管理システム導入のメリット

①業務効率の向上

手作業による集計が不要になり、管理部門の負担が大幅に軽減されます。リアルタイムでのデータ更新により、迅速な意思決定が可能になります。

②正確性の向上

人為的ミスが削減され、勤怠データの正確性が向上します。これにより、給与計算の精度が高まり、従業員の信頼を得ることができます。

③コンプライアンスの強化

労働時間管理の厳格化や有給休暇取得の促進など、労働関連法規への対応が容易になります。

④柔軟な働き方の支援

テレワークやフレックスタイム制など、多様な勤務形態に対応でき、場所や時間にとらわれない働き方を実現します。

⑤データ分析による 経営判断の支援

蓄積されたデータを分析し、人員配置の最適化や業務プロセスの改善に役立てることが可能です。



デジタル技術の発展により、勤怠管理システムの進化が加速しています。クラウド型の勤怠管理システムを導入することで、リアルタイムでのデータ収集と分析が可能となり、管理者は従業員の勤務状況を把握しやすくなります。これにより、業務の効率化や、適切な人材配置の見直しといった施策が取りやすくなり、企業の生産性が向上します。また、リモートワークやフレックスタイムといった多様な働き方が普及する中で、従業員が自分の働き方に応じて勤怠情報を柔軟に管理できることは、従業員の意欲の向上に役立つ要素ともなります。

ただし、システムの導入には初期投資やランニングコストがかかる点も考慮が必要です。特に中小企業にとっては、このコストが大きなハードルになることが少なくありません。また、クラウド上でデータを管理するため、サイバーセキュリティリスクへの対応も欠かせません。さらに、従業員の中には新しいシステムへの抵抗を示すケースも多く、特に年配の従業員には使用方法の指導が必要になるでしょう。

導入にあたっての課題

導入にあたっての課題

<p>①初期投資とランニングコスト</p> <p>システム導入には費用がかかり、中小企業にとっては負担となる可能性があります。</p>	<p>②セキュリティリスク</p> <p>クラウドシステムの利用に伴うデータセキュリティへの懸念があります。適切な対策を講じることが不可欠です。</p>	<p>③従業員の抵抗</p> <p>特に年配の従業員から新システムへの抵抗が予想されます。適切な研修やサポートが求められます。</p>
<p>④カスタマイズの限界</p> <p>パッケージシステムでは、企業独自の勤怠ルールに完全に対応できない場合があります。</p>	 <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">青森県のDX推進状況はどうなっている？</p>	

システムの導入効果を最大限に引き出すためには、こうした課題を事前に把握し、適切な対策を講じることが重要です。DXの進展によって、企業が生産性を高め、地域経済の発展に寄与できる可能性が広がっています。

青森県のDX推進状況

青森県では、「青森県DX推進プラン」を策定し、2024年度から2028年度までの5年間を計画期間としています。プランの基本理念は「青森県はDXでもっとおもしろくなる」です。この理念には、「青森県だから仕方ない」という諦めを払拭し、デジタル技術を最大限に活用しながら、2040年のめざす姿「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」を目指すという逆転の発想が込められています。県では、特に中小企業向けに、DX推進のための支援策を展開しています。しかし、県内企業、特に中小企業におけるDX化はまだ途上にあり、デジタルツールの導入率向上が課題となっています。

DXで変わる働き方、変わる青森

DXによる勤怠管理システムの導入は、単なる管理手法の変革にとどまらず、働き方そのものを変え、企業の生産性向上と従業員の満足度向上をもたらす可能性を持っています。従業員が柔軟に働ける環境が整うことで、業務効率が向上し、より多くの成果を上げることが可能になります。これにより、地域経済の活性化が期待され、特に若者の県内定着やUIターンへの促進にも寄与するでしょう。青森県内企業がDX化を進めることで、地域全体がより活力あるものになることが期待されています。さらに、デジタル技術を活用して働き方を柔軟にすることは、働き手にとっても魅力的な選択肢となり、地域外からの人材流入や地元での雇用創出にもつながります。青森県がデジタル化を通じて、豊かな自然と最先端の技術が共存する魅力的な地域として発展するために、柔軟な働き方を実現することが、より魅力的な場所にするための重要なステップです。それが、私たち一人ひとりの挑戦でもあります。

地方における店舗経営の事例紹介

株式会社 橋 文

青森県八戸市卸センター1丁目9番1号 電話 0178-28-1661
https://www.hashibun.co.jp/

伝統と革新の調和 ～株式会社 橋文の挑戦～

株式会社みらいパートナーズは、企業の業務効率化や成長をサポートするため、会計や人事労務、勤怠管理などのデジタルツールの導入支援を行っております。中小企業にとって、デジタルツールの導入には高額なコストや専門知識が必要となり、その実現には多くのハードルがあります。しかし、みらいパートナーズはこうしたハードルを乗り越えるための支援を行い、お客様に寄り添ったサポートを提供しています。導入支援に際しては、各企業のニーズを綿密にヒアリングし、業務フローの改善や最適なツールの選定から、実際の導入・運用までを一貫してサポートいたします。

今回ご紹介するのは、弊社の支援を受けて新たな取り組みを進めている株式会社橋文様の事例です。

株式会社 橋文の歴史と姿勢

青森県で創業153年を迎える株式会社橋文様は、小売・卸売業として、靴の販売を始め、スクール用品や学校指定用品を提供しています。

現在、HASHIBUN9QUE・2TUU サンロード店をはじめとして複数店舗を展開しており、地域に根ざした経営を続けながらも、規模を着実に拡大しています。また、4年前からはクリーンリフレという新しい商品ラインの販売を開始し、新たな挑戦にも積極的に取り組んでいます。

お客様第一の姿勢

橋文様の経営理念の核心には、単に商品を販売するのではなく、顧客一人ひとりのニーズに寄り添うという強い信念があります。この理念を支えているのが、17名ものシューフィッターによる専門的なサービスです。特に、北東北でわずか2人しかいない上級シューフィッター（パッチェラー）が1名在籍している点は、同社の強みと言えます。足の計測から始まり、個々の足に合わせた靴選びや歩行指導、インソール調整に至るまで、細部にわたるトータルサポートを提供しているのです。

伝統と革新の融合

橋文様では常に最新の技術と知識を積極的に取り入れ、顧客の生活向上に寄与しています。

同社の代表は次のように語っています。

「私たちの存在意義は、単に商品を提供することにとどまりません。お客様に満足していただくことで、地域社会と共に成長していくことが目指すべき方向です。これからも、お客様の足元を守るために、私たちができることを追求し、地域への貢献を続けてまいります。」

業務効率化への挑戦：勤怠管理システム導入

橋文様の革新への取り組みは、顧客サービスにとどまらず、内部の業務効率化にも及びます。最近、同社は勤怠管理システム「KING OF TIME」を導入し、業務改善に大きな成果を上げています。

導入の背景

これまで給与計算は1人の担当者が行っており、「私しかできない」という状況に陥っていました。給与計算の属人化は、業務リスクを高める原因となるため、橋文様はリスク軽減を図るべく、デジタル化に踏み切りました。新しい勤怠管理システムを導入することで、業務効率を大幅に改善する狙いがありました。

導入後の変化

- ①給与計算が効率化され、他の業務に時間を割けるようになった。
- ②タイムカード管理が簡素化され、出張時の管理も容易になった。
- ③ペーパーレス化で印刷や配布の手間が削減された。
- ④給与明細をいつでもどこでも確認可能になった。

勤怠管理システム未導入企業へのメッセージ

橋文様からは、まだ勤怠管理システムを導入していない企業様に向けて、次のようなメッセージをいただきました。

「給与担当の方々には、早めのシステム導入をお勧めします。最初は慣れない部分もありますが、システムが稼働し始めれば、時間やコストの削減が実感できるはずです。特に年末調整や税制変更などの対応も自動化され、計算ミスリスクが軽減されます。デジタル化への一歩を踏み出せば、新たな可能性が広がります。」

橋文様が勤怠管理システムを導入した背景には、急速に変化するビジネス環境に対応し、業務効率を高めるという強い意志がありました。長年の経験と伝統に基づく経営を大切にしながらも、デジタルツールの導入により業務負担を軽減し、従業員一人ひとりが本来の業務に集中できる環境を整えたのです。この取り組みは、従業員の働き方にも大きな影響を与え、柔軟な勤務形態を可能にしました。また、デジタル化によりリアルタイムでの勤怠データの把握ができるようになり、経営者としても、従業員の勤務状況や労働時間を正確に把握することができるため、より健全な労務管理が実現しました。

さらに、橋文様では、勤怠管理システム導入後、従業員のワークライフバランスの向上にも成功しています。業務が効率化されることで、従業員の負担が軽減され、残業時間の削減や有給取得率の向上といった成果も出ています。また、システムの導入によりペーパーレス化が進み、業務コストの削減や環境への配慮も実現しました。これにより、企業全体で持続可能な働き方を目指す取り組みが一層進展しているのです。

橋文様の事例は、伝統を大切にしつつも、最新技術を取り入れることで業務効率を向上させる模範的な成功例です。地域に根差しながらも未来を見据えた経営姿勢は、多くの企業様の参考になることでしょう。とりわけ、長年同じ方法で業務を続けてきた企業にとって、新たなツールの導入は大きな決断となるかもしれませんが、橋文様のように一歩踏み出すことで、業務の効率化や精度向上という形で大きな成果が得られる可能性があります。

株式会社みらいパートナーズは、今後もこのような事例を通じて、企業の成長を支援し続けてまいります。私たちは、企業のニーズに応じた最適なデジタルソリューションの提案から、導入後の運用サポートまで一貫して対応し、お客様と共に成長を目指します。勤怠管理システム導入が、働き方改革や業務効率化の第一歩となり、企業の未来を切り拓ききっかけとなることを期待しております。

